

※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。



## 東京の産業と教育（電子版）

第63号 令和7年12月26日



この会報電子版は、専門高校を中心とした産業教育の魅力を発信しています。

会報電子版の記事は、都産振HPにも一部掲載されております。合わせてご覧いただければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

東京都産業教育振興会HP <https://www.tosanshin.org/>

### ☆今号のコンテンツ

- 【1】第41回葛飾区産業フェアが開催（10月）
- 【2】第35回全国産業教育フェア福島大会及び第67回全国産業教育振興大会（福島大会）開催（10月）
- 【3】教育功労者表彰式（11月）
- 【4】第2回「都立専門学科高校の進路指導教員と東商会員企業との交流会」（11月）
- 【5】都立農業高等学校による都庁都民広場花壇の秋季花植え（11月）
- 【6】第32回東京都高等学校工業科生徒研究成果発表大会（11月）
- 【7】第2回企画推進委員会（11月）
- 【8】産学懇談会（第3回）（12月）
- 【9】第2回大田区産業教育懇談会（12月）
- 【10】第13回東京都立総合学科高等学校教育活動成果発表会（12月）
- 【11】作文コンクール表彰式（12月）
- 【12】会誌「東京の産業教育」の表紙イラスト・デザインコンクール選考結果報告（12月）
- 【13】TOKYO NOSAN プロジェクト（12月）

## 【14】情報提供のお願い

☆-----☆

### 【1】第41回葛飾区産業フェアが開催（10月）

10月17日（金）から開催されました第41回葛飾区産業フェア取材いたしました。今年は、工業・商業・観光展が10月17日（金）～19（日）、農業・伝統産業展が10月24日（金）～26日（日）にテクノプラザかつしかで開催されました。内容は以下の通りです。

#### 【工業・商業・観光展】

**実演：**アンチモニー合金の鋳造・加工、刃物修理他

**展示：**金属プレス部品、観光写真コンクール入賞作品、私立幼稚園児のぬり絵コーナー（青鳩幼稚園・やまびこ幼稚園）、おもちゃアイデアコンクール入賞作品、税に関する絵はがきコンクール優秀作品他

**即売：**区内工場生産品（アクセサリ、バッグ、靴、プラスチック製品、文房具等）、商店街商品（お茶、のり、佃煮、お菓子等）他

**体験：**ねじ作り体験、巨大ゴムボール作り、昇華転写体験、缶バッジ製作体験、「知的な筋力トレーニング装置」体験他でした。

#### 【農業・伝統産業展】

**即売：**JA〔鉢植花、葛飾産元気野菜、豚汁（土・日のみ）、仕込み味噌、お菓子、お茶等〕、地方特産品販売（秋田県、福島県、新潟県、群馬県、茨城県、丑、岐阜県、熊本県、長崎県）他

**展示：**野菜宝船、私立幼稚園児のぬり絵コーナー（青鳩幼稚園・やまびこ幼稚園）他

**伝統工芸品の制作実演・展示販売：**江戸小紋、江戸押絵羽子板、江戸衣裳着人形、江戸切子、江戸打刃物、東京打刃物、東京銀器、伊勢形紙、江戸型彫、江戸木彫刻、印傳、棕櫚たわし、手描き友禅、東京三味線、彫金、硝子彫刻、江戸ベッ甲





## 【2】第35回全国産業教育フェア福島大会及び第67回全国産業教育振興大会（福島大会）開催（10月）

10月25日（土）～26日（日）に第35回全国産業教育フェア福島大会及び第67回全国産業教育振興大会（福島大会）が開催されました。

全国産業教育フェアとは、専門高校等の生徒の学習成果を総合的に発表する大会です。年に1回、各都道府県で全国的な規模で開催し、全国の専門高校等の生徒の学習意欲や産業界、教育界、国民一般への専門高校等の魅力的な教育内容について理解・関心を高め、産業教育の活性化を図っているものです。

初日（25日）は、産業教育フェア福島大会会場（ビッグパレットふくしま）で生徒作品・展示を見学、第24回全国高校生フラワーアレンジメントコンテストを見学いたしました。さらに、全国産業教育振興大会、に出席いたしました。

2日目（26日）は全国高校生観光ビジネスアイデアコンクールや第33回全国高等学校ロボット競技大会福島大会などを見学しました。

今年の全国産業教育フェア福島大会は、両日ともすべての会場が多くの来場者の熱気に溢れ、産業教育への関心の高さを実感いたしました。





メイン会場：ビッグパレットふくしま



フラワーアレンジメント会場



フラワーアレンジメント 銀賞 産業教育中央会長賞 都立園芸高等学校 妻屋 安連



フラワーアレンジメント 都立園芸高等学校 橋本 菜



作品展示・体験コーナー 都立新宿山吹高等学校



作品展示・体験コーナー ・参加・交流イベント・ロボット競技大会

### 【3】教育功労者表彰式（11月）

表彰式は11月11日（火）、全商会館にて開催しました。

教育功労者表彰は、多年にわたり東京都の産業教育に従事かつ尽力され、多くの功績をあげられた方々を表彰するものです。今年度は、高等学校2名、高等専門学校1名、中学校5名の方々を表彰しました。



### 【4】第2回「都立専門学科高校の進路指導教員と東商会員企業との交流会」（11月）

11月12日（水）午後1時30分からTKP市ヶ谷カンファレンスセンターにて、東京商工会議所人材支援センター主催の「第2回都立工科・商業高校等の進路指導教員と会員企業との交流会」が開催されました。今回の情報交換のテーマは「自社のキャリア教育支援、人材育成・採用」です。

当日の参加校は以下の通りです。

#### 【工科高校】

足立工科高校、荒川工科高校（定時制課程）、北豊島工科高校、蔵前工科高校、小金井工科高校（定時制課程）、中野工科高校、練馬工科高校、葛西工科高校、総合工科高校、町田工科高校、六郷工科高校、

#### 【商業高校】

葛飾商業高校、第五商業高校、芝商業高校

#### 【農業高校】

農産高校、農産高校（定時制課程）

#### 【産業高校】

橘高校



## 【5】都立農業高等学校による都庁都民広場花壇の秋季花植え（11月）

毎年、春季と秋季に都立農業系高等学校による都庁都民広場花壇の秋季花植えが、農芸高等学校全日制課程、瑞穂農芸高等学校全日制課程、農業高等学校全日制課程、青梅総合高等学校定時制課程、園芸高等学校全日制課程、農産高等学校全日制課程の生徒たちにより行われています。

11月14日（木）、都立農業高校の生徒が、都民広場花壇の花植えをしている様子をご紹介します。

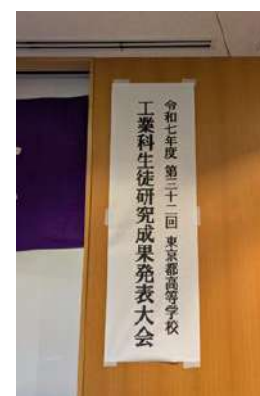
この活動は、農業を学ぶ高校生による都民広場花壇の花植えは平成6年度から始まり、今年で31年目を迎えました。生徒が自ら考えた花壇デザインを基に都庁都民広場花壇の作成を行うもので、花壇のデザインから花壇作成までの一連の実習を通して、園芸に関する基本的な知識と技術を身に付け、学習意欲の向上を図ることを目的としています。



## 【6】第32回東京都高等学校工業科生徒研究成果発表大会（11月）

11月16日（土）、都立工芸高等学校にて、東京都立工業高等学校長会主催の令和7年度第32回東京都高等学校工業科生徒研究成果発表大会が開催されました。この大会は、工業科生徒が日ごろの研究成果を発表させ、生徒の主体性、創造性及び課題解決能力、表現力などの育成に努め、工業科相互の活動状況を理解することにより、生徒の意識高揚と学習活動の活性化を目指しています。初めに、開会に際して、大村公洋東京都教育庁都立学校教育部都立学校改革推進担当課長、鈿持利治東京都工業高等学校長会会長（東京都立六郷工科高等学校長）よりご挨拶を頂きました。今年度は口頭発表の部22、パネル発表の部6でした。いずれも日頃の研究や実践の積み重ねを発表する熱気に溢れた大会でした。研究発表大会後の講評を早川信一拓殖大学工学部教授（日本工業技術教育学会会長）より頂きました。

口頭発表の最優秀賞は、【学術】都立科学技術高等学校「空を舞うミクロなものをCatch&とSearch! ～回収方法の確立でMPs研究の輪を広げる～、【実践】都立工芸高等学校（定時制）「ストップモーションアニメーション制作」、東京都産業教育振興会会長賞は都立八王子桑志高等学校「ネットワークとセキュリティ



ティに関する研究」が受賞しました。また、パネル発表は、都立科学技術高等学校「未利用資源のバイオマス利用における排出される CO2 の削減」が受賞しました。なお、教育庁から安藤紗季都立学校教育庁高等学校教育課課長代理（計画担当）、青木嘉正指導部高等学校教育指導課課長代理が審査員として参加しました。



## 【7】第2回企画推進委員会（11月）

11月21日（金）、都庁第二本庁舎教育委員会室にて、第2回の企画推進委員会を開催しました。開会にあたり出席者の自己紹介をしました。座長をハリウッド美容専門大学の佐藤和彦学務部長にお願いし、本年度の事業予定及び事業活動経過等、会報168、169号の発行、産学懇談会などについて、17報告と3協議が行われました。委員の方々から活発なご意見を頂きましたので、今後の活動に生かしてまいります。

今年度の企画推進委員は以下の通りです。（敬称略）

東京都産業教育振興会	会長	西澤	宏繁
東京都産業教育振興会	副会長	金子	昌男
東京都産業教育振興会	副会長	小林	治彦
都立農業高等学校	校長	並川	直人
都立葛西工科高等学校	校長	鈴木	邦夫
都立葛飾商業高等学校	校長	岩崎	豊
都立南多摩中等教育学校	統括校長	富川	麗子
都立世田谷総合高等学校	校長	田川	健太
東京実業高等学校	校長	田中	清江
安部学院高等学校	校長	安部	元彦
マリールイズ美容専門学校	顧問	江原	美規子
ハリウッド美容専門大学	教務部長	佐藤	和彦
東京都産業技術高等専門学校	副校長	柴崎	年彦
東村山市立東村山第七中学校	校長	阿久津	健一
教育庁指導部高等学校教育指導課	指導主事	田中	智弘
教育庁指導部義務教育指導課	統括指導主事	宮西	真

## 【8】産学懇談会（第3回）（12月）

12月2日（火）学校法人川口学園早稲田速記医療福祉専門学校にて、産学懇談会（第3回）を開催しました。

早稲田速記医療福祉専門学校は、速記の普及を目的に1935年に設立されました。その後時代の変化に対応し、1972年に日本初の医療秘書科を開設しました。

現在は、看護科、介護福祉科も開設し、医療と福祉の分野で「専門事務職」と「専門技術職」のスペシャリストの育成を行っています。

当日は、開会の挨拶を西澤宏繁会長、川口拓也会場校校長、教育委員会を代表しまして安藤紗季都立学校教育課長代理より頂き、その後、校内見学（施設・設備等）を行いました。

見学後、川口拓也校長から学校概要や特色ある教育活動について詳しく説明を頂きました。その後、懇談会に移り、参加者から施設見学・学校説明に対する



質問・感想が述べられました。また、専門学校の現状と課題、教育活動への期待について意見交換を行い、有意義な機会となりました。

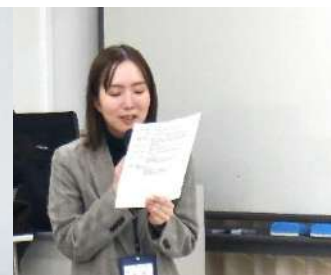
最後に謝辞を東京都産業教育振興会企画推進委員（マリールイズ美容専門学校顧問）江原美規子様より頂き、閉会となりました。早稲田速記医療福祉専門学校の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。



西澤宏繁会長



川口拓也会場校校長



安藤紗季事務局長



## 【9】第2回大田区産業教育懇談会（12月）

12月8日（月）に大田区立池上会館2階集会室にて第2回大田区産業教育懇談会を開催しました。

この事業の目的は、大田区内の企業、小学校・中学校・高等学校・専門学校、大田区役所、大田区教育委員会、東京都教育委員会、一般社団法人大田工業連合会、一般社団法人大田 CP21、東京商工会議所大田支部、東京都産業教育振興会等が一堂に会し、情報交換を行うことにより、相互の理解を深め、義務教育から高等学校教育まで一貫した大田区独自のキャリア教育の構築を図り、将来の大田区及び大田区の産業を担う人材の育成に資することです。

当日は、開会のご挨拶を西澤宏繁東京都産業教育振興会会長、小黒仁史大田区教育委員会教育長、青木毅大田区産業経済部長より頂きました。続いて、来賓者の紹介後、発表に移り、大田区産業経済部、大田区教育委員会、大田 CP21、小学校、中学校、高等学校から8発表を行いました。発表後、まとめ（感想）を折田和宙大田区教育委員会統括指導主事、安田芳東京都教育庁指導部義務教育指導課指導主事より頂きました。最後に閉会のご挨拶を河野敏弘東京都教育庁指導部主任指導主事に頂きました。この度の参加者は、51名でした。前回同様、今回も大変素晴らしい発表ばかりで有意義な懇談会となりました。

お忙しい中、ご参加いただきました皆様には、心より感謝を申し上げます。今後とも引き続きよろしく願いいたします。

当日、ご挨拶・来賓・ご発表をいただいた方々は次の通りです。（敬称略）

### 【開会のご挨拶】

東京都産業教育振興会会長 西澤 宏繁  
大田区教育委員会教育長 小黒 仁史  
大田区産業経済部長 青木 毅

### 【ご来賓】

大田区教育委員会教育長 小黒 仁史  
大田区産業経済部長 青木 毅  
大田区教育委員会教育総務部長 今井 健太郎  
一般社団法人大田工業連合会会長 広瀬 安宏  
一般社団法人大田工業連合会青年部連絡協議会委員長 奥山 隆行  
一般社団法人大田 CP21 副代表 浅尾 博之  
東京商工会議所大田支部 事務局長 中井 宏好

### 【ご発表者】

大田区産業経済部長 青木 毅  
大田区教育委員会事務局指導主事 奥野 暢基  
一般社団法人大田 CP21 副代表 浅尾 博之  
大田区立大森第三小学校長 井上 光広  
大田区立大森第七中学校長 佐藤 圭一  
都立大田桜台高等学校校長 小川 孝  
都立大森高等学校校長 池田 美穂  
大森学園高等学校校長 石川 和弘

### 【まとめ(感想)】

大田区教育委員会事務局統括指導主事 折田 和宙  
東京都教育庁指導部義務教育指導課指導主事 安田 芳

## 【閉会のご挨拶】

東京都産業教育振興会理事・東京都教育庁指導部主任指導主事 河野 敏弘



## 【10】第13回東京都立総合学科高等学校教育活動成果発表会（12月）

第13回東京都立総合学科高等学校教育活動成果発表会が、令和7年12月13日（土）に東京都教職員研修センター地下2階視聴覚ホールで開催されました。

この発表会は、「東京都立総合学科高等学校の取組みに対する理解を深め、各校教育活動の充実を図るとともに、生徒への指導や発表会の運営等を通じて各校教員の資質向上を図る」ことを目的として、平成25年から開催しています。

総合学科高校10校に学ぶ生徒たちの代表が一堂に会し、これまでに自ら取り組んできた成果に対し、自信をもって、堂々と発表していました。各学校の発表は以下の通りです。



### ○成果発表

- 1 東京都立つばさ総合高等学校 駒木 猛司（3年次）  
サブスク時代の今、映画館で映画が観たいと思わせる方法
- 2 東京都立王子総合高等学校 村林 萌衣（3年次）  
現代日本の若者におけるアニミズム的価値観
- 3 東京都立葛飾総合高等学校 對馬 マリアエリカ（3年次）  
恋愛ソングから見る日米の文化の違いとジェンダー問題  
Examining Cultural Differences and Gender Issues Through Japanese and Western Love Songs

- 4 東京都立青梅総合高等学校 南雲 耀太 (3年次)、大野 優樹 (2年次)  
マイクロ波の加熱による食肉中大腸菌の殺菌条件の検討
- 5 東京都立世田谷総合高等学校 大野 彩希 (3年次)  
エアコンがなくても夏を快適に過ごせる家を作れるか。
- 6 東京都立若葉総合高等学校 神林 ノドカ (3年次)  
色彩心理学 ～色、ことば、こころのつながり～
- 7 東京都立杉並総合高等学校 池亀 このこ (3年次)  
「沖縄戦」における県民被害に関する調査
- 8 東京都立町田総合高等学校 石毛 甚 (3年次)  
中古楽器を販売する店舗のビジネスモデルとは何か
- 9 東京都立晴海総合高等学校 中山 輝己、渡邊 航太、濱本 楓、丸田 瞳子、  
佐野 ひなた (3年次)  
絶対に成功する起業家精神  
～日常のなかの困りごとを見つけるワークショップ～
- 10 東京都立東久留米総合高等学校 菊地 玲 (3年次)  
果糖の糖度と温度の関連性～果実は冷やすと甘くなるのか～

○表彰状授与



【11】作文コンクール表彰式 (12月)

12月19日(金)に東京商工会議所にて作文コンクール表彰式を開催しました。本コンクールは、産業教育に関する学びや体験を通じて得た思いや考えを、自らの言葉で表現する貴重な機会として、毎年多くの生徒・学生の皆さんにご参加いただいております。

今年度も、技術・家庭科や専門教科の学習、勤労体験などを通じて得た人生観や職業観を真摯に綴った、素晴らしい作品が多数寄せられました。審査員一同、皆さんの熱意と創造力に深く感銘を受けました。

本表彰式は、入選された皆様の努力と成果を称えるとともに、今後のさらなる成長を願って、執り行いました。

なお、作文コンクール受賞作品集は来年3月に会員の皆様へお届けいたします。

## 応募状況について

	応募校数	応募者数
中学校の部	25校(27校)	172人(178人)
高等学校の部	23校(21校)	160人(155人)
専修学校の部	3校(3校)	14人(12人)
合計	51校(51校)	346人(345人)

※( )内は昨年度の数値

各部の最優秀賞と優秀賞は以下の通りです。(敬称略)

### 【中学校の部】

#### 最優秀賞

北区立明桜中学校 島本 結 「私の宝物」

#### 優秀賞

世田谷区立三宿中学校 室井 奏 「地域の人と子育て」

杉並区立泉南中学校 稲川 絢音 「大切なこと」

杉並区立泉南中学校 高橋 美来 「社会を支える裏方」

北区立明桜中学校 橘菌 一星 「小さな笑顔から学んだ大きなこと」

練馬区立豊浜中学校 鈴木 理人 「当たり前のこと」

### 【高等学校の部】

#### 最優秀賞

東京都立農芸高等学校 山田 弥彦 「馬糞で拓く新たな魅力」

#### 優秀賞

東京都立橘高等学校 染谷 豊一 「私の今昔の物語～学ぶことが生きがい～」

愛国高等学校 小久保 杏栞 「将来の夢」

### 【専修学校の部】

#### 最優秀賞

ハリウッド美容専門学校 小島 彩佳 「病気と共に描く未来」

#### 優秀賞

青山製函専門学校 李 然 「この腕の中の現場から」

### 【イラストの部】

#### イラスト賞

世田谷区立用賀中学校 山口 なな

## 明日に生きる

—作文コンクール入選作品集—

第36号



令和7年度

東京都産業教育振興会

### 【作品の説明】

私たちは生きていく中で、たくさんの人や仕事と関わり合いながら暮らしています。そうしたつながりを当たり前と思わず、日々感謝の気持ちを持つことが大切だと感じています。この絵は、人とのつながりや支え合いの大切さを表現したものです。人は一人では生きていけません。一人ひとりが 会の一員として、お互いに助け合い、支え合ってこそ、より良い社会が成り立つのだと思います。



## 【12】会誌「東京の産業教育」の表紙イラスト・デザインコンクール選考結果報告（12月）

東京都産業教育振興会は創立70周年を迎えることから、会誌の表紙イラスト・デザインをリニューアルすることといたしました。

そこで、会員校の生徒・学生に表紙イラスト・デザインを募集した結果、36作品の募集があり、厳正なる選考の結果、最優秀賞1作品、優秀賞4作品が選ばれました。

表彰式は、12月19日（金）に東京商工会議所にて作文コンクール表彰式と同時に開催しました。

受賞者は、以下の通りです。（敬称略）

最優秀賞	東京都立八王子桑志高等学校産業科2年	仲野 佳奈
優秀賞	東京都立工芸高等学校グラフィックアート科3年	槌田 杏紗
優秀賞	東京都立工芸高等学校アートクラフト科1年	林田 愛乃
優秀賞	東京都立王子総合高等学校総合学科1年	服部 咲陽
優秀賞	東京都立産業技術高等専門学校	
	AIスマート工学コース5年	古川 愛栞

なお、入選作品は、会誌「東京の産業教育」第63号に掲載いたします。

## 最優秀賞



東京都立八王子桑志高等学校  
産業科 仲野 佳奈

### 【作品の説明】

左から第1次産業、第2次産業、第3次産業を緑、赤、青系統に分けて、それぞれを象徴とする道具などをかきました。また、中央の東京を囲んで1つの円になっていることで、この3つがつながり協力し合うことで、東京全体を支えているということ表現しました。配色も親しみやすくプラスなイメージを抱きやすいカラフルでポップな色合いにしました。

## 優秀賞



東京都立工芸高等学校  
グラフィックアート科  
榎田 杏紗



東京都立工芸高等学校  
アートクラフト科  
林田 愛乃



東京都立王子総合高等学校  
総合学科  
服部 咲陽



東京都立産業技術高等専門学校  
AIスマート工学コース  
古川 愛栞

## 【13】 TOKYO NOSAN プロジェクト (12月)

都立農産高等学校の「TOKYO NOSAN プロジェクト」の一環として、遠忠食品株式会社とコラボ商品の開発がなされました。

この商品は、三重県伊勢湾産の香り高い海苔と、都立農産高校で育てた希少な「八房唐辛子（八房唐辛子は、江戸時代に新宿内藤町周辺で栽培されていたことが有名な伝統品種です。）」を贅沢に使用し、伝統の直火窯でじっくり炊き上げた、ピリッと辛く旨味たっぷりの、唐辛子入り海苔佃煮です。





#### 【14】情報提供のお願い

特色ある教育活動情報など、会報電子版やホームページに掲載したものがありましたら、お気軽に事務局早川までメールにてご連絡ください。下記の会員皆様へご紹介いたします。この情報サイトをご活用の際は、よろしくお願いいたします。

#### 【2025年12月26日現在の会員数】

産業界会員 55社  
 学校会員 563校  
 個人会員 16名  
**計 634会員**

#### (学校会員の内訳)

私立高校	13校
都立高校	64校
国立高校	1校
都立高専	1校
専修学校	38校
短期大学	3校
公立中学校	418校
公立義務教育学校	8校
区立中等学校・中等教育学校	10校
私立中学校	4校
国立中学校	2校

【お願い】

この「東京の産業と教育(電子版)」は全文が著作権で保護されていますが、東京都産業教育振興会の会員校や会員企業の内部では情報共有して下さるようお願いいたします。

\*\*\*\*\*

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内  
東京都産業教育振興会 事務局 (担当: 早川)  
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1  
TEL 03-5320-6729 都庁内線 53-247  
E-mail: Tadanori\_Hayakawa@member.metro.tokyo.jp

\*\*\*\*\*